



新光商事株式会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2008年3月期決算説明会

- 決算の概要
- 今後の施策
- 当期の見通し

2008年5月16日

代表取締役社長 北井 暁夫

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業における技術トレンドの変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動

決算の概要

2008年3月期連結決算のポイント

中間期の修正見通しをクリアし、売上高・経常利益・当期純利益は3期連続で増収増益、過去最高を達成

- 娯楽機器は期初計画は下回るも前期比では大幅に伸長
- NT販売は堅調に推移
- 通信分野及びOA分野は苦戦

決算の概要

●売上高・経常利益・当期純利益は3期連続過去最高

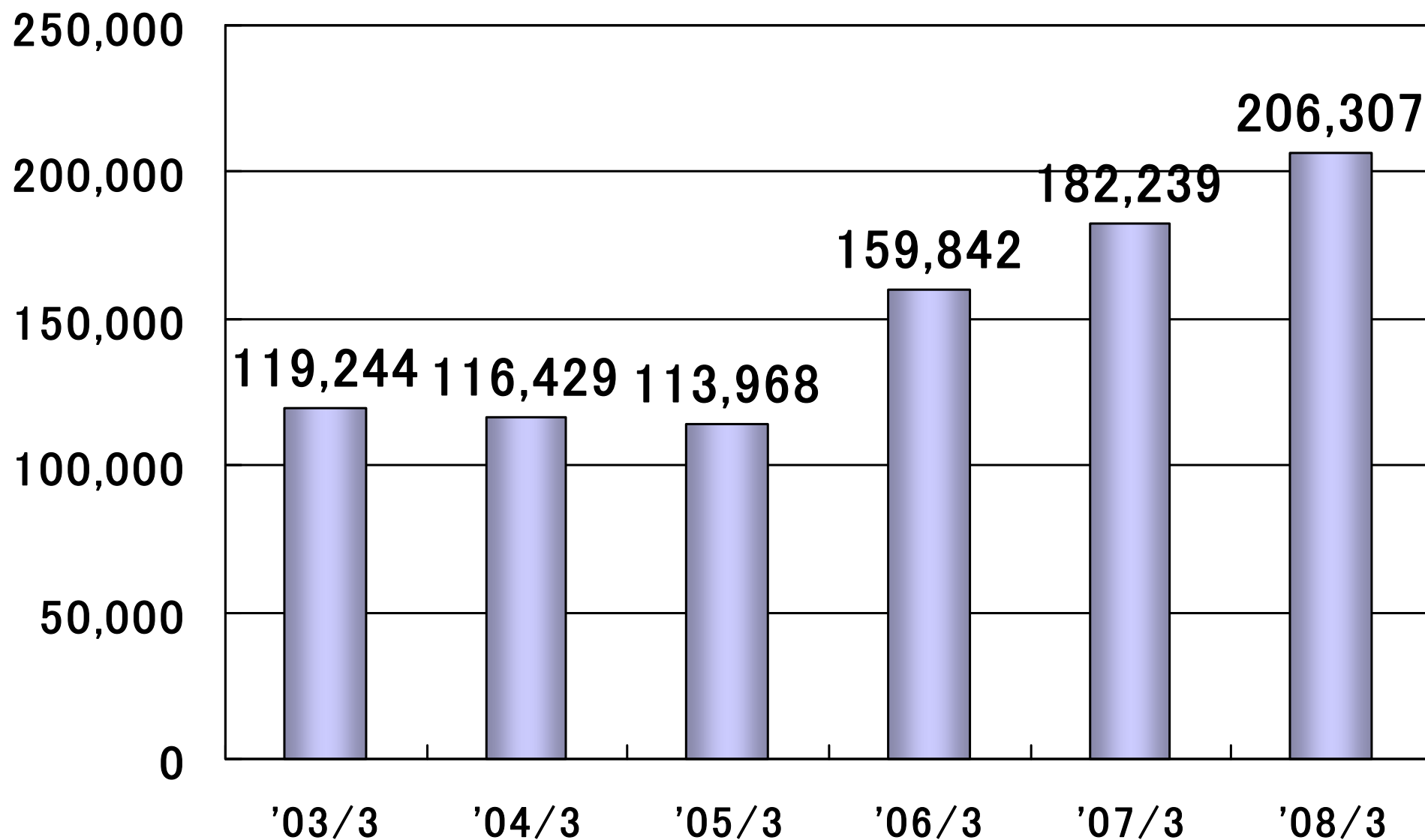
(百万円)

	07年3月期	08年3月期	前期比	修正見通し	修正見通し比
売上高	182,239	206,307	113.2%	205,000	100.6%
売上総利益	15,640	17,004	108.7%	—	—
販管費	8,805	10,432	118.5%	—	—
営業利益	6,834	6,571	96.2%	6,500	101.1%
経常利益	6,963	7,078	101.6%	6,500	108.9%
当期純利益	4,047	4,391	108.5%	4,000	109.8%
1株当たり 当期純利益	176円29銭	181円60銭	+5円31銭	168円87銭	107.5%
1株当たり 配当金(年間)	30円00銭	38円00銭 (予想)	+8円00銭 (予想)	36円00銭	105.6%

売上高推移

●過去最高の売上高を更新

(百万円)



セグメント情報

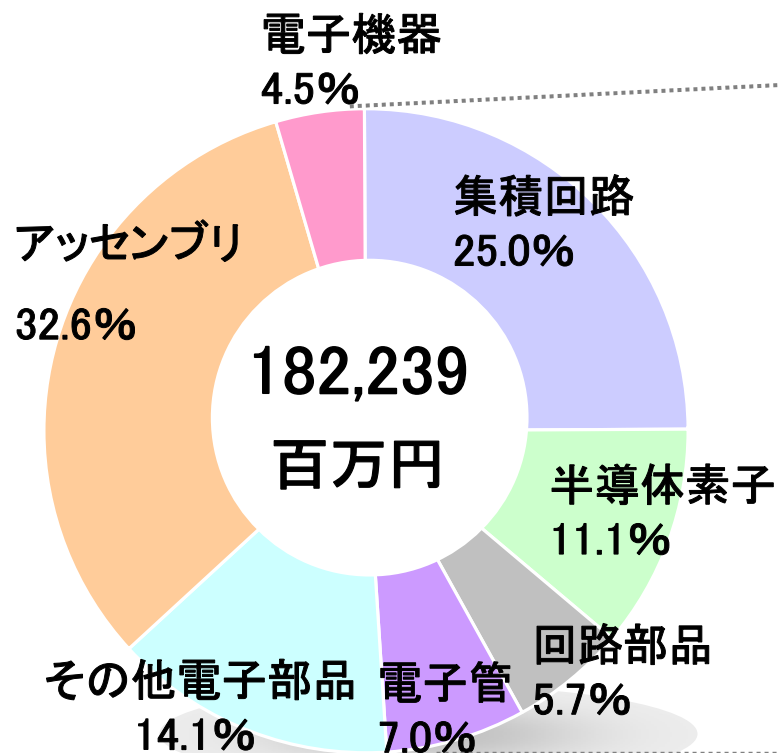
(百万円)

事業の種類別		07年3月期	08年3月期	前期比
電子部品事業	売上高	114,723	130,219	113.5%
	営業利益	5,942	6,350	106.9%
アッセンブリ事業	売上高	59,373	67,232	113.2%
	営業利益	3,013	2,713	90.0%
その他の事業	売上高	8,141	8,854	108.8%
	営業利益	199	228	114.2%

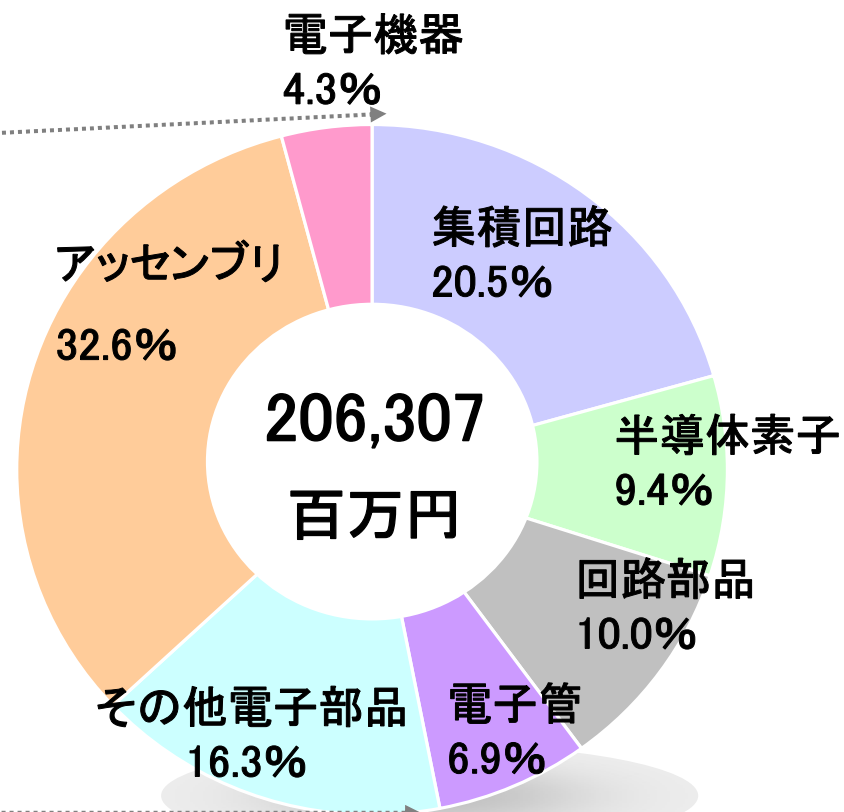
所在地別		07年3月期	08年3月期	前期比
日本	売上高	136,631	162,286	118.8%
	営業利益	7,513	7,683	102.3%
アジア	売上高	44,198	42,048	95.1%
	営業利益	1,695	1,893	111.7%
北米	売上高	1,408	1,972	140.0%
	営業利益	28	65	228.4%

品種別売上高構成

【07年3月期】



【08年3月期】



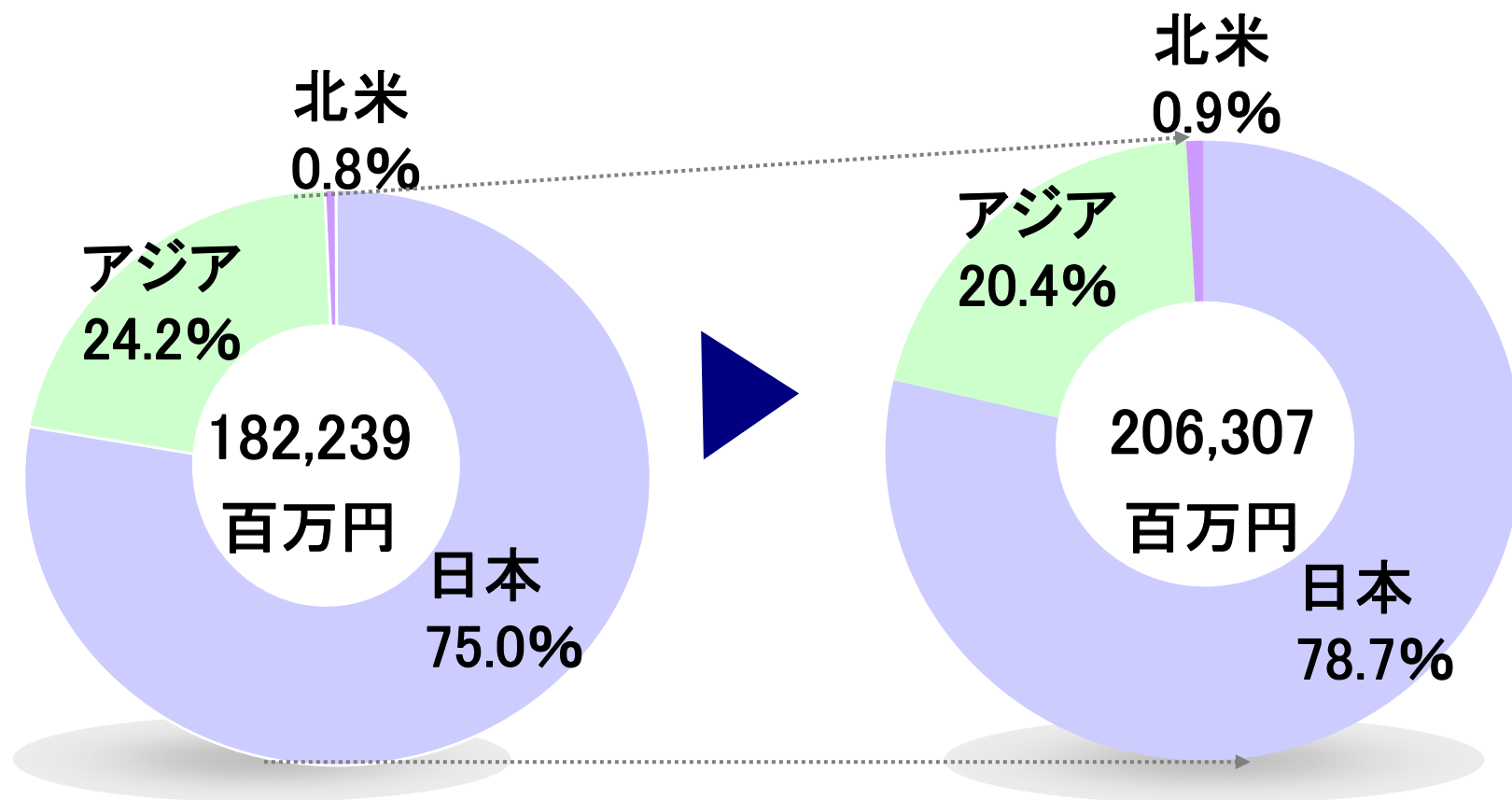
品種別の主要製品、用途、売上傾向

	主要製品、用途	売上傾向
集積回路	自動車電装・PC周辺機器等・携帯電話	PC周辺機器・携帯電話向け減
半導体素子	自動車電装・産業機器全般・娯楽機器	衛星放送受信機向け減
回路部品	全分野	NT販売連結化により増
電子管	産業機器全般・PC周辺機器・携帯電話	携帯向け減、娯楽向け増
その他電子部品	娯楽機器・産業機器	NT販売連結化増・娯楽向け増
アッセンブリ	娯楽機器・産業機器	娯楽向け大幅増
電子機器	産業機器全般・PC周辺機器	NT販売連結化により増

エリア別売上高構成

【07年3月期】

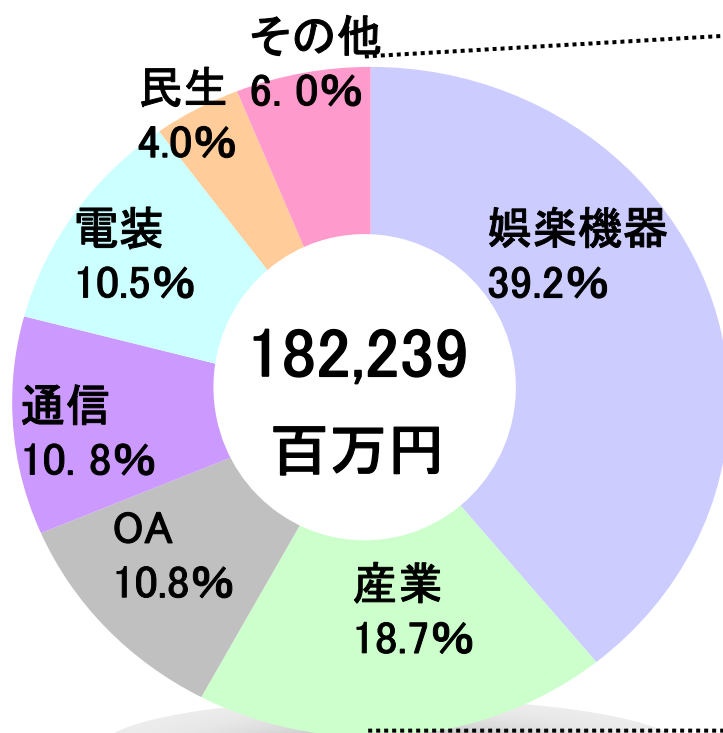
【08年3月期】



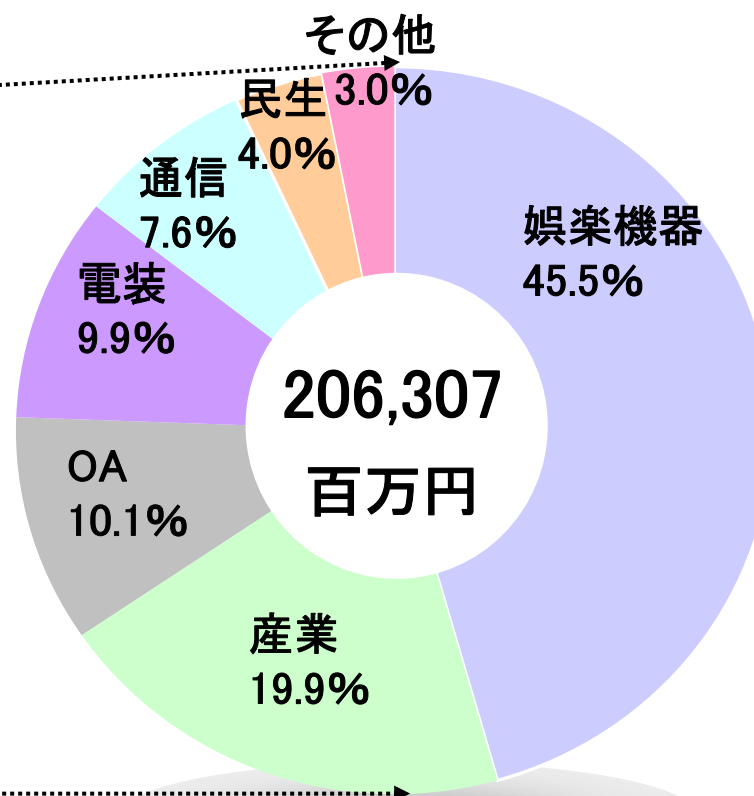
分野別売上高構成

- 娯楽機器は、予想は下回ったものの過去最高の売上高を更新
- 通信は、海外向け携帯電話用液晶パネルの生産調整の影響で減収

【07年3月期】

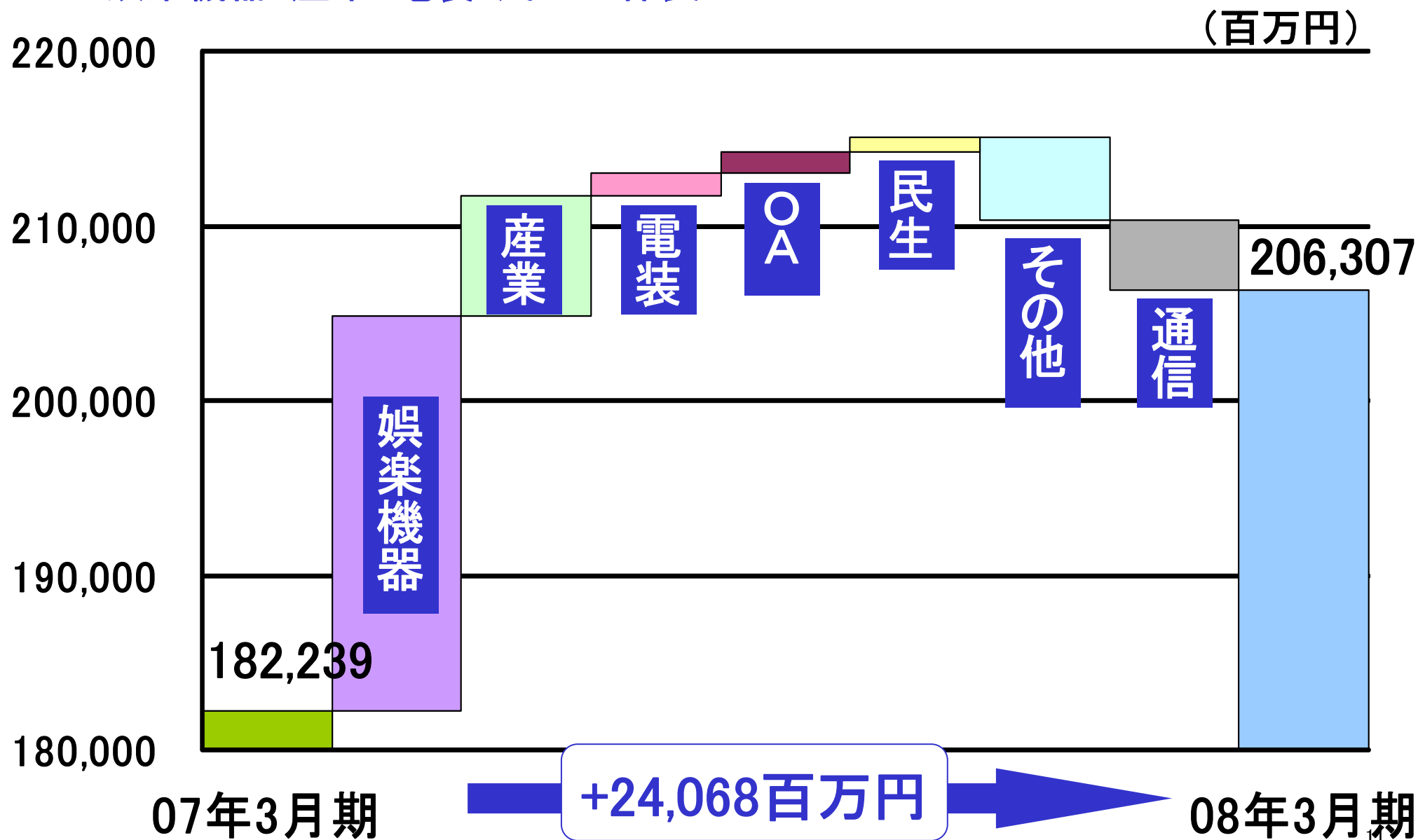


【08年3月期】

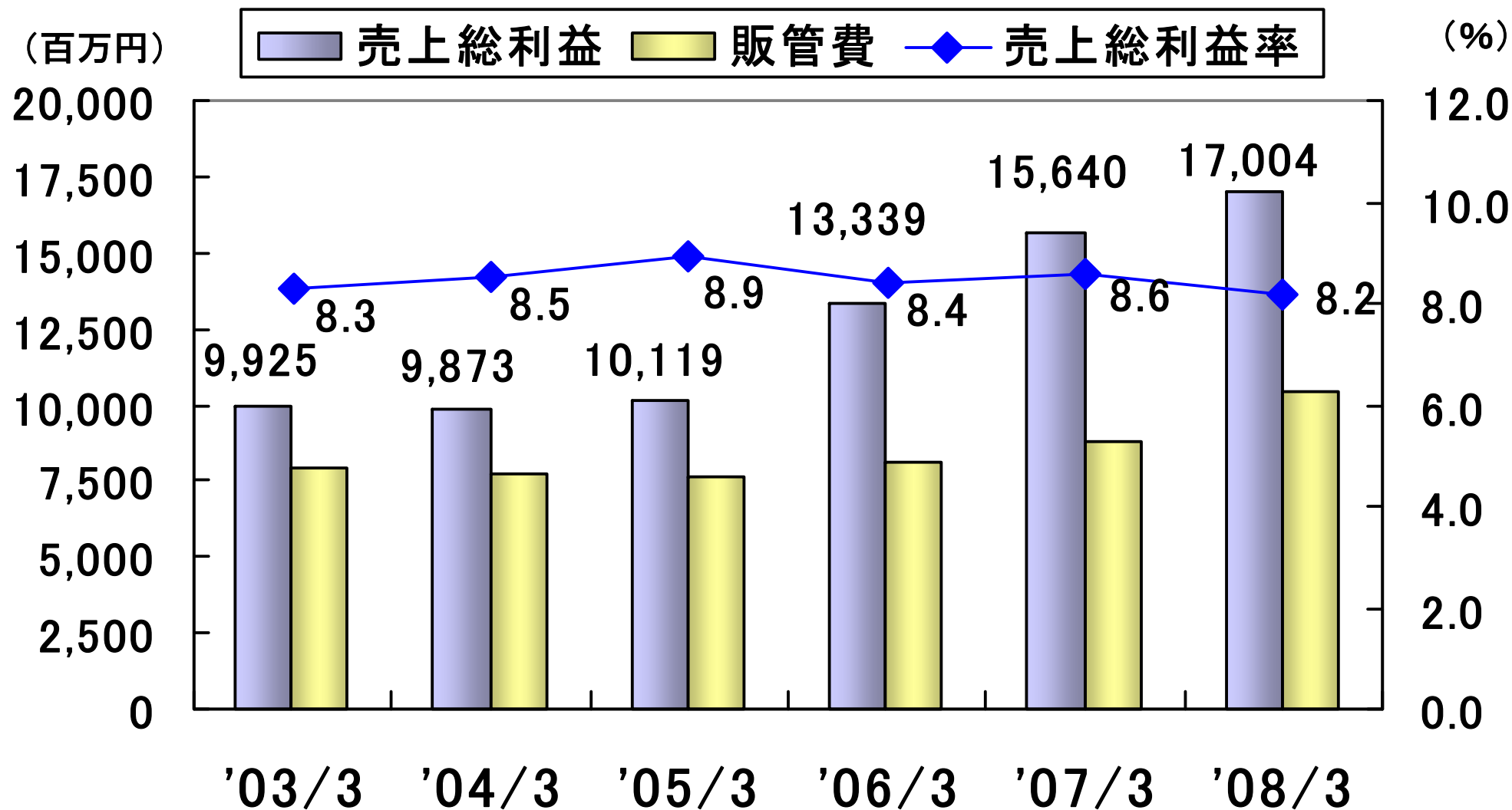


分野別売上高の増減

● 娯楽機器・産業・電装・民生が伸長



売上総利益／売上総利益率



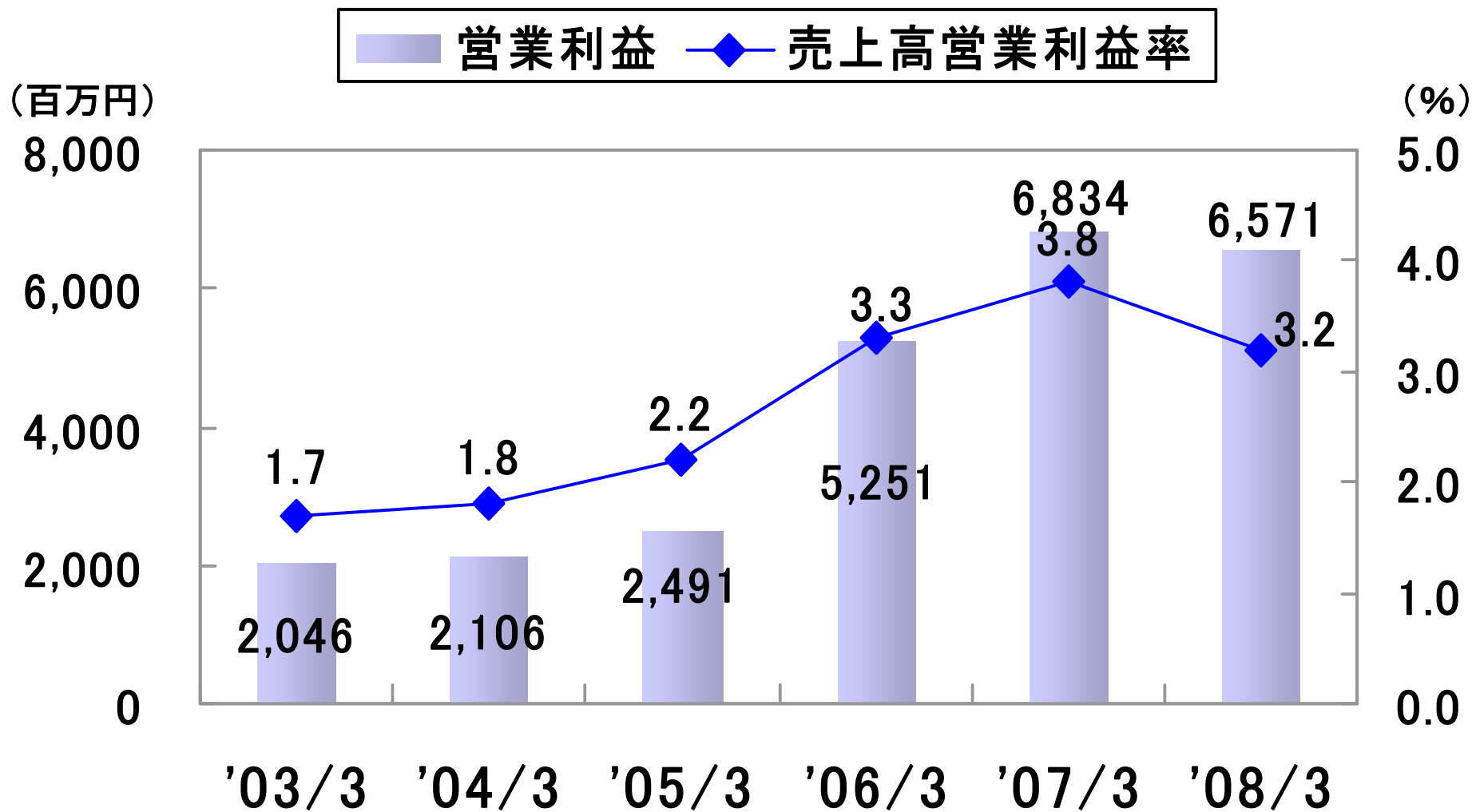
営業外収益・費用の主な増減要因

(百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
売上高	182,239	206,307	24,068
売上原価	166,598	189,302	22,704
売上総利益	15,640	17,004	1,363
販売費及び一般管理費	8,805	10,432	1,626
営業利益	6,834	6,571	△ 263
営業外収益	228	622	394
うち、受取利息	141	158	17
うち、為替差益	0	359	359
営業外費用	99	116	16
うち、為替差損	32	0	△ 32
経常利益	6,963	7,078	114

営業利益／売上高営業利益率

●粗利率の低下・販管費の増加により、売上高営業利益率は低下



特別損益等の主な増減要因

(百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
特別利益	210	46	△163
特別損失	922	311	△611
うち、固定資産売却・除却損	220	6	△214
関係会社整理損	0	93	93
本社移転費用	135	0	△135
厚生年金基金脱退一時金	475	0	△475
投資有価証券評価損	51	113	62
税金等調整前当期純利益	6,251	6,814	562
法人税等	2,204	2,301	97
少数株主利益	0	121	121
当期純利益	4,047	4,391	343

要約貸借対照表1

(百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
資産合計	96,448	96,544	96
流動資産	88,481	87,814	△667
うち、現金及び預金	13,773	20,029	6,256
売掛債権等	60,563	55,592	△4,971
たな卸資産	13,520	11,501	△2,019
固定資産	7,966	8,730	763
うち、無形固定資産	207	874	666

要約貸借対照表2

(百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
負債合計	55,323	48,458	△6,865
流動負債	51,930	44,946	△6,983
買掛債務	47,894	39,745	△ 8,149
短期借入金	970	2,430	1,460
固定負債	3,393	3,511	117
純資産合計	41,124	48,086	6,961
うち、資本金及び資本剰余金	14,771	19,101	4,330
利益剰余金	25,160	28,701	3,540

キャッシュ・フロー

(百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,634	6,598	+4,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	△654	△1,662	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,078	1,600	+2,678
現金及び現金同等物の期末残高	13,773	20,029	+6,256

今後の施策

成長に向けた今後の施策

- 1 NT販売の収益力強化
- 2 海外事業の進捗状況
- 3 新市場の開拓による事業基盤の強化
- 4 NECエレクトロニクスとの協業強化
- 5 娯楽機器事業の現状と見通し

1. NT販売の収益力強化①

●売上高はほぼ計画どおり、利益は大幅達成

(百万円)

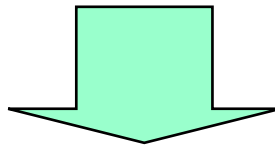
	08年3月期 計画	08年3月期 実績	達成率	09年3月期 計画
売上高	18,010	17,759	98.6%	19,025
売上総利益	1,675	1,844	110.1%	1,923
販管費	1,622	1,591	98.1%	1,597
営業利益	158	253	160.1%	326
経常利益	107	212	198.1%	268

1. NT販売の収益力強化②

●収益構造強化を目指して

- ・基幹システムの統合(08年10月)
- ・物流システムの統合の検討(09年3月)
- ・ISO14001認証取得(08年5月)

●新光商事取扱品の拡販の推進



2010年度 経常利益率3%を目指す

2. 海外事業の進捗状況

グローバル市場への展開を計画的に強化しており、今後の収益拡大への貢献に期待

上海現地法人連結組入れ

09年3月期(予定)

目標売上高 20億円

目標経常利益 0.6億円

ベトナムデザインセンターの稼動

08年3月 12人体制でスタート

11年3月期の黒字化を目指す

30人体制へ

* 電装顧客への対応を中心にスタート

タイ現地法人

07年11月より稼動

09年3月期(予定) 売上高 約2億円

* 現状はシンガポール対応顧客のサポートが中心

日本精機タイ出資の進捗

日本精機と共同で拡販活動を推進中

3. 新市場開拓による事業基盤の強化①

新規商権獲得に向けて

●新規有望顧客の商権獲得

→ 欧米系ベンチャー企業へのアプローチに注力

●新規商材の開発による新市場の育成

→ 国内有望IP企業とのコラボレーション

3. 新市場開拓による事業基盤の強化②

●欧米系ベンチャー企業の商材発掘

08年3月期の成果と進行中の取り組み

Avalent社ASIC
ターンキービジネス
新規口座開設2件
3.3億円受注
(開発費)

2.5GHz次世代
通信ビジネス参入

2009年夏
サービス開始

新規有望顧客の商権獲得

3. 新市場開拓による事業基盤の強化③

●国内有望IP企業とのコラボレーション

ソーバスメモリ社

(メモリIP)

代表 徳重 和雄氏
(NEC→エルピーダ→ソニー:DRAM技術)

A 社

(TVバックライトコントロールIP)

開発案件へ投資(27百万円)

代表 A氏(東芝→サムソン:FPD技術)

※大手企業から独立した技術者の起業支援を行うことで、彼らの業界人脈を活用した新規ビジネスモデルを立ち上げる

3. 新市場開拓による事業基盤の強化④

欧米系ベンチャー企業

ASIC

Avalent

B社

Wimax

C社

D社

画像処理・指紋認証

E社

F社

H社

G社

I社

無線・その他

J社

K社

L社

国内有望IP企業

メモリビジネス

ソーバスメモリ

M社
実装メーカ

N社
メモリメーカ

FDP

A社

07年9月中間期
決算説明会で
発表済みの取り
組み

07年9月中間期
以降の取り組み

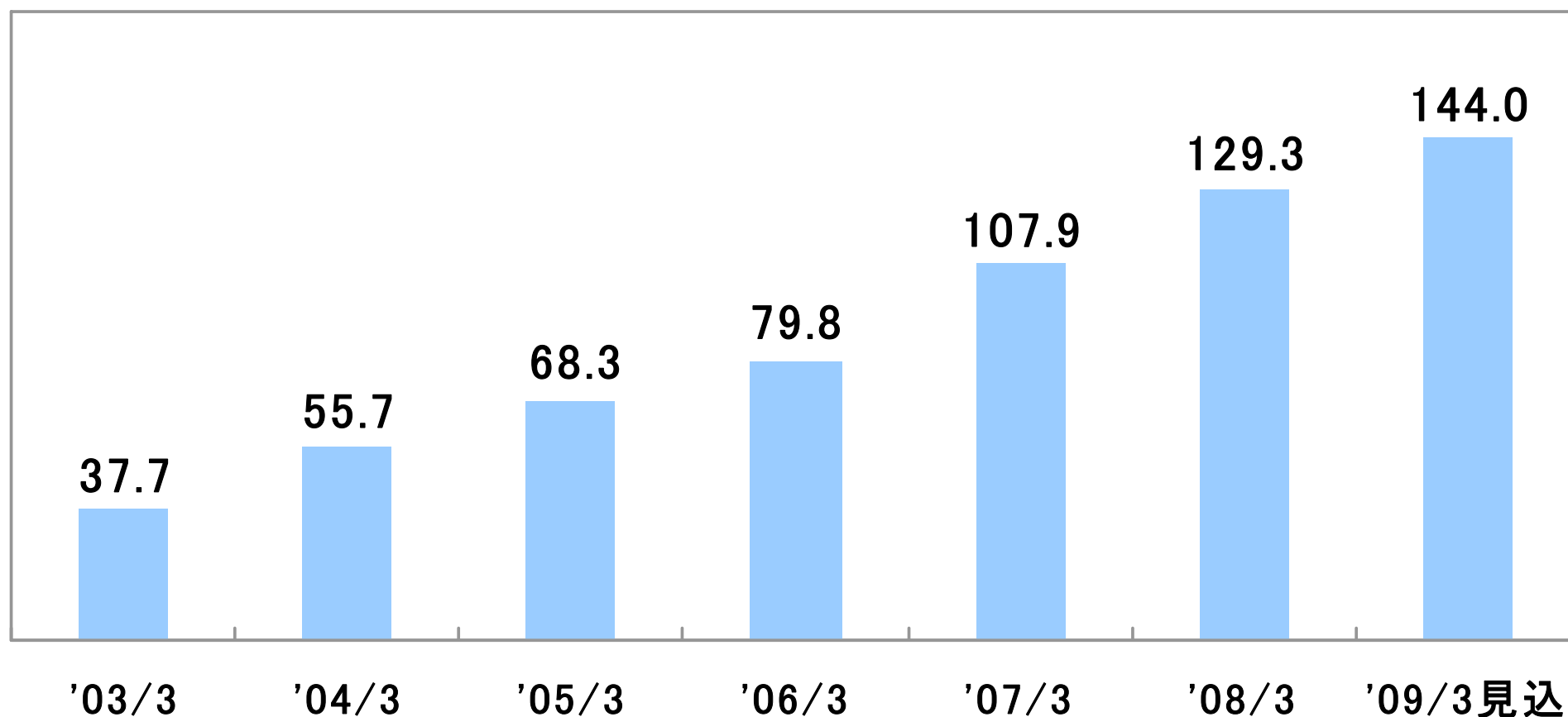
有望仕入先発掘

3. 新市場開拓による事業基盤の強化⑤

TI 製品の売上拡大

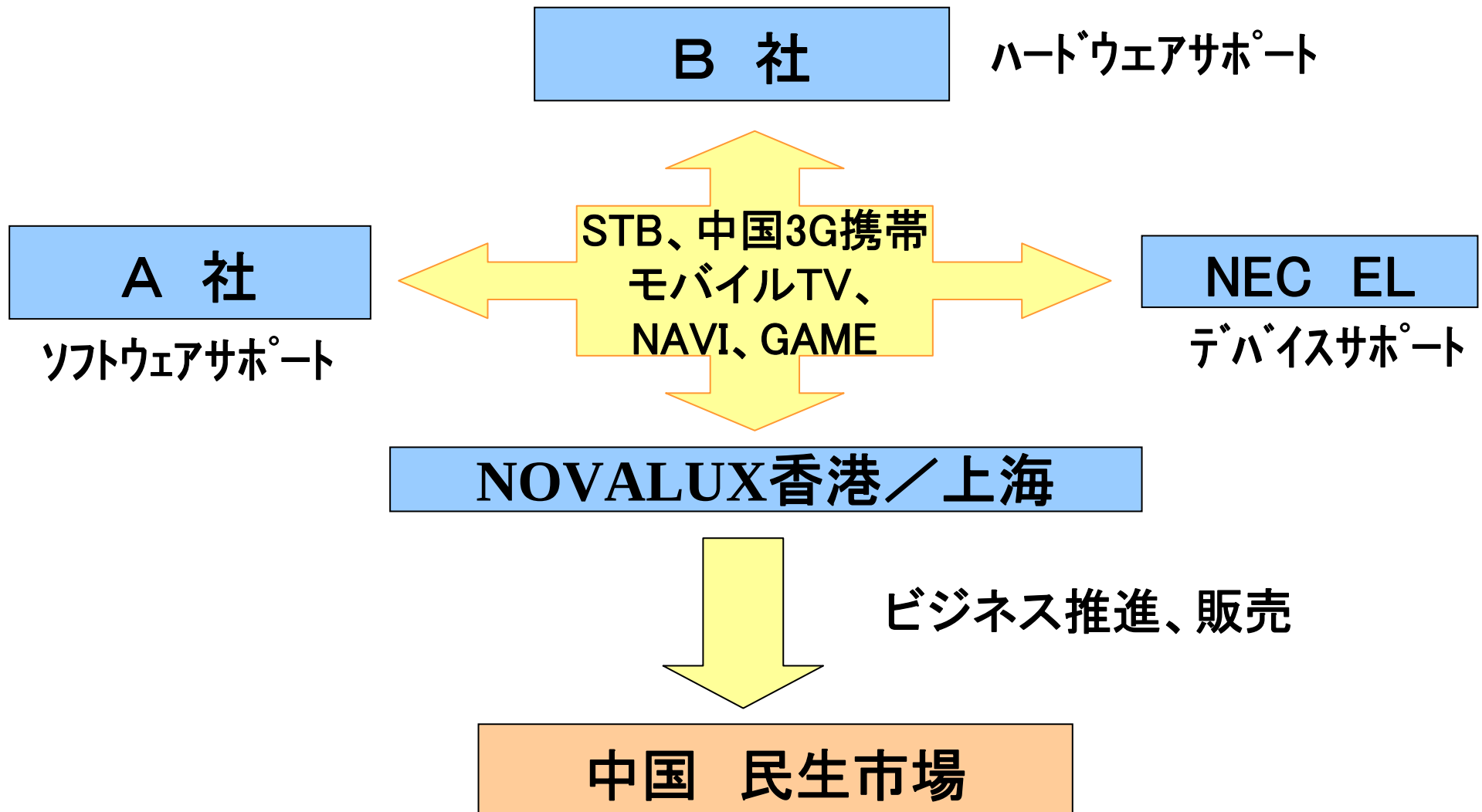
●新規商権獲得により着実に伸長

(億円)



4. NECエレクトロニクスとの協業強化①

●4社協業によるSOLUTION販売を展開



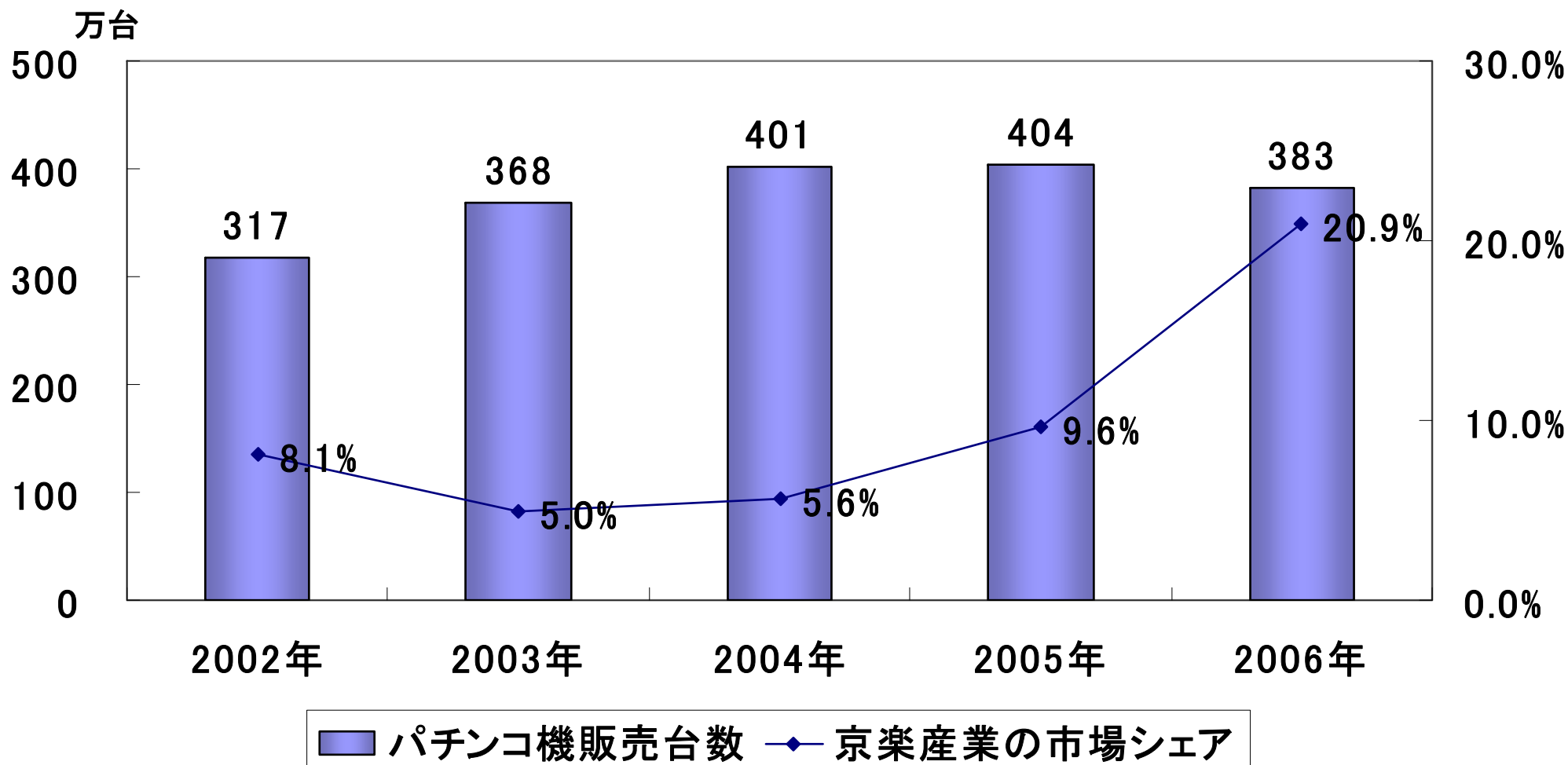
4. NECエレクトロニクスとの協業強化②

カーエレクトロニクスをさらに強化

- 技術サポート要員を増強
- 海外電装メーカへの技術サポートを強化
(ボッシュ・ビステオン・オートリブ)
- 新規電装顧客の開拓・育成
 - ・ 二輪・汎用エンジン市場
 - ・ ディーゼルエンジン市場

5. 娯楽機器事業の現状と見通し①

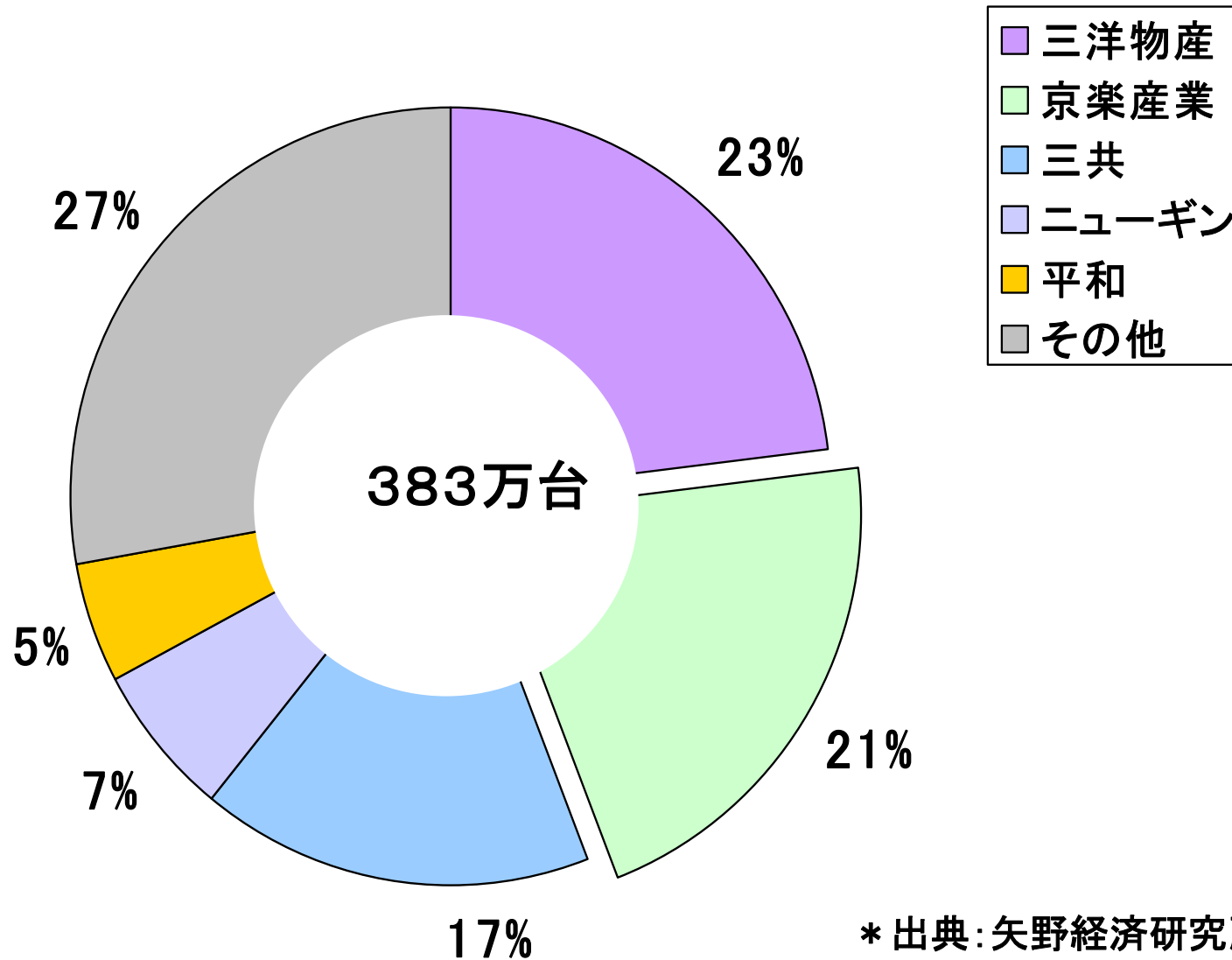
●パチンコ機販売台数と京楽産業の市場シェア



出典: 矢野経済研究所

5. 娯楽機器事業の現状と見通し②

● 2006年度パチンコ台販売台数シェア



5. 娯楽機器事業の現状と見通し③

●顧客の基本的な開発の方向性

投資コストを抑制できる製品開発計画を打ち出している

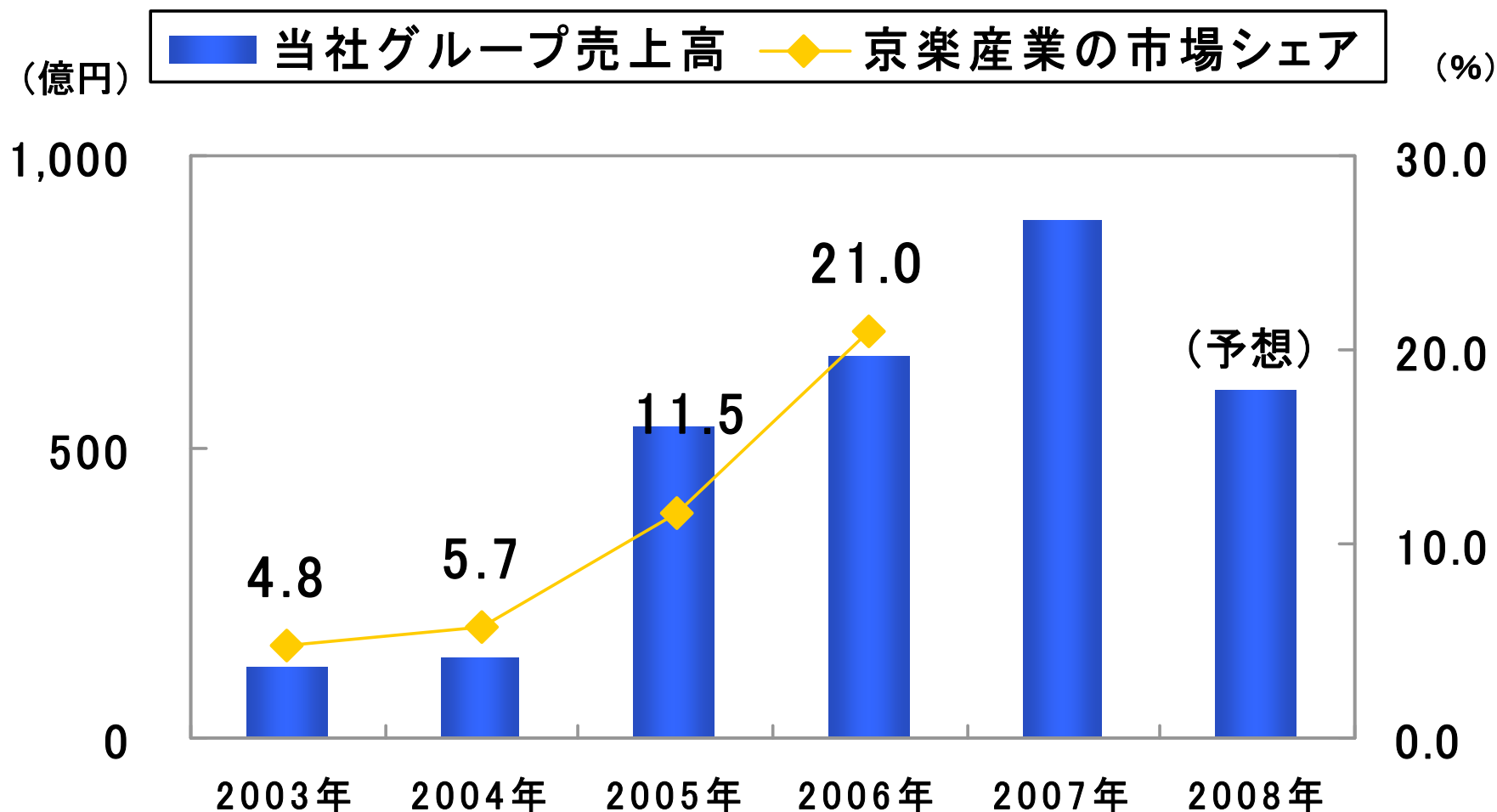
ホールが設備投資を抑制できる製品の投入
(顧客に飽きられない製品寿命の長いパチンコ台)



- ・1台当たりの単価が高くて、長く使えればホールにとっては年間の設備投資は少ない。
- ・メーカーにとっては飽きられない手の込んだ製品を開発する必要性がある。

5. 娯楽機器事業の現状と見通し④

●娯楽機器連結売上高の推移と京楽産業の市場シェア



* 京楽産業の市場シェア 出典: 矢野経済研究所

5. 娯楽機器事業の現状と見通し⑤

●売上高の減少要因(当社予測)

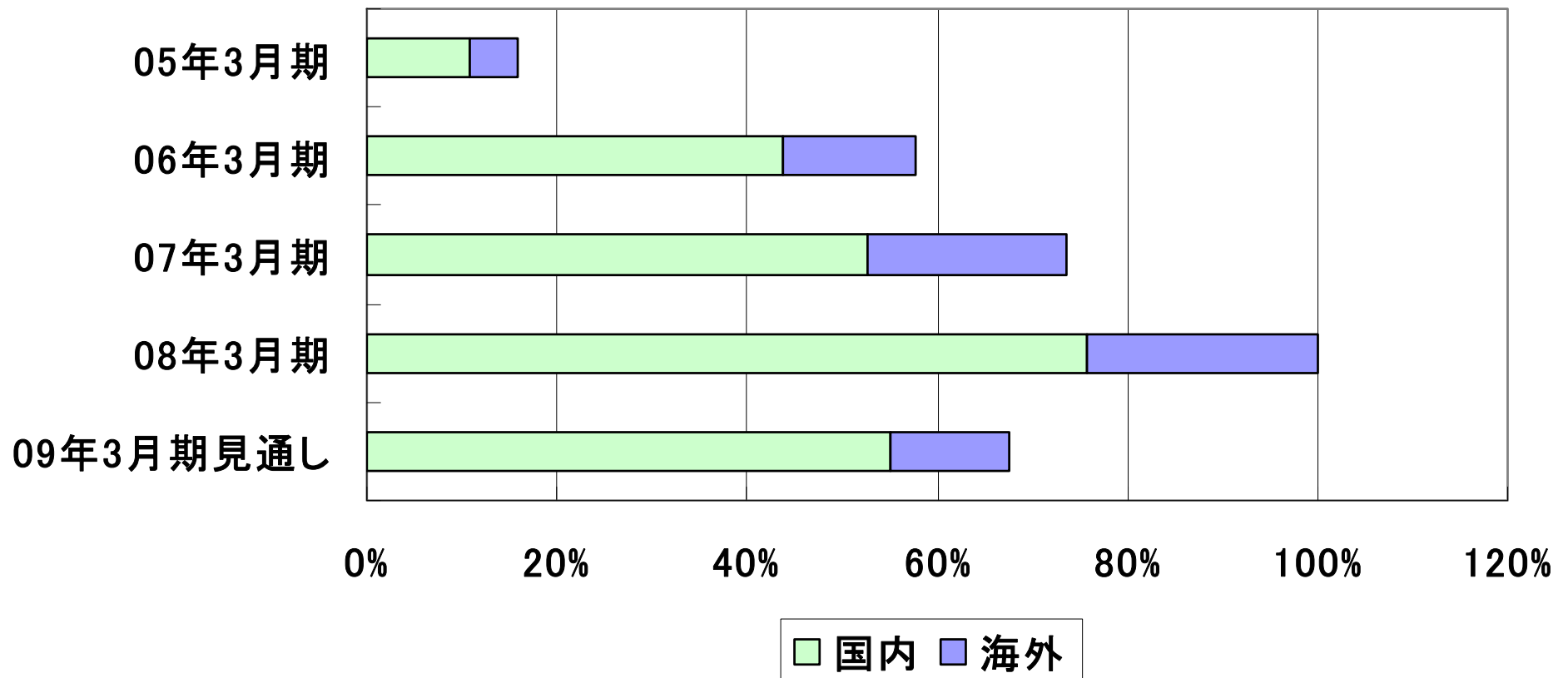
- ・09年3月期は当社の納入台数が減少の見込み
- ・前期に、08年1Q予定機種の一部材を納入した影響
- ・ホールの経営事情による、枠装着率の減少を予想

5. 娯楽機器事業の現状と見通し⑥

●娯楽機器の売上高指数および国内・海外の構成比

娯楽機器売上高指数

08年3月期 = 100



2009年3月期の見通し

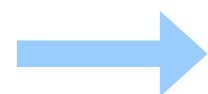
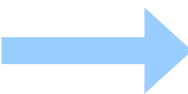
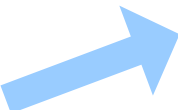
連結業績見通し

(百万円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見通し	前期比
売上高	206,307	180,000	87%
営業利益	6,571	5,200	79%
経常利益	7,078	5,200	73%
当期純利益	4,391	3,200	73%

配当予想	38円00銭	40円00銭	+2円00銭
------	--------	--------	--------

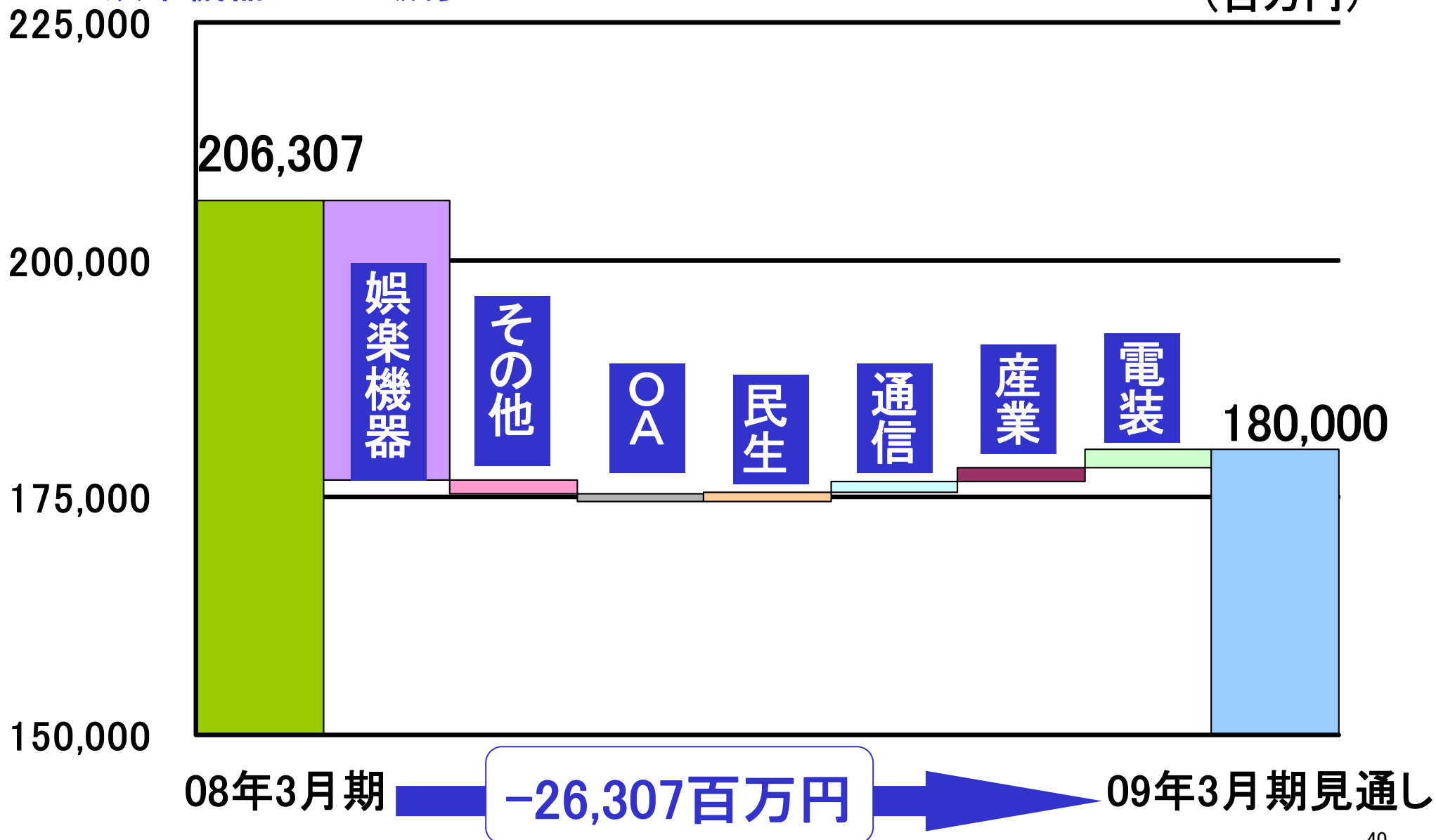
分野別の見通し

	07年トレンド	08年トレンド	09年3月期見通し
通信			海外向け携帯電話用ビジネスは底打ち。
電装			新規採用により堅調に推移。北米需要は不安要因
産業			市場は不安定だが、新規商権獲得により堅調に推移
民生			海外の衛星通信受信機向けは若干回復へ
OA			PC周辺機器向け光ディスクドライブ減少
娯楽機器			前述のとおり

売上高見通しの増減要因

● 娯楽機器・OAが減少

(百万円)



株主還元について

● 1株当たり配当金

	08年3月期 (予想)	09年3月期 (予想)
中間	18円00銭	20円00銭
期末	20円00銭 (予想)	20円00銭
年間	38円00銭 (予想)	40円00銭

ご清聴ありがとうございました。

連絡先

新光商事株式会社

取締役 管理部門統括 正木 輝

企画室 課長 内野泰宏

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: t-masaki@st.shinko-sj.co.jp
uchino@st.shinko-sj.co.jp

住所: 〒141-8540

東京都品川区大崎1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>